

平成29年度 横浜市世界を目指す若者応援事業

(個人留学による帰国報告)

●氏名

SOさん

●留学先

国/都市：カナダ/メイプルリッジ

外国の高校：Westview Secondary School

●留学期間

平成29年9月1日～平成30年6月28日

●留学先での活動、留学で学んだこと

9月：学校のオリエンテーションやスクールトリップがあり、留学生たちと交流しました。

10月：少しずつカナダの生活に慣れてきて、学校でも少しずつ友達ができるようになってきました。

11月：Englishの授業ではじめて全部英語でプレゼンテーションをしました。

12月：クリスマスのイベントのボランティアに参加したり、友達とクリスマスパーティーをして休暇を楽しみました。

バレーボールのクラブチームのトライアウトに参加し、合格し、チームに入りました。

1月：週3回バレーボールの練習があり、チームメイトと少しずつ話せるようになりました。

2月：雪がたくさん降り、ホストマザーと一緒に雪かきをしたり、友達と雪でたくさん遊びました。

3月：Englishの授業で2回目のプレゼンテーションがありました。前よりよかったと先生にほめられました。

春休みは冬休みより勉強もしつつ、時々友達と町に行って遊びました。

4月：バレーボールの試合がありました。チームメイトたちと前より仲良くなれて、楽しく過ごせました。

5月：バレーボールのシーズンも終わり、留学生活も残り少なくなったので、放課後は友達とたくさんの時間を過ごしました。

6月：年度末ということもあり、最後にたくさん課題やテストがあり、放課後は、ほぼ毎日友達と図書館に行き、勉強しました。

この1年間の留学を通して一番学んだことは、積極的に行動することの大切さです。最初のころは英語も全く話せなかったこともあり、なかなか友達もできませんでした。しかし、このままではダメだと思い、自分から行動するようになってからは友達も増え、英語も伸び、世界が広がりました。

また、私の通っていた高校は留学生が本当にたくさんいたので、カナダだけでなく、ドイツ、フランス、トルコ、スペイン、ブラジル、中国、韓国、フィリピン、タイなどたくさんの国の文化を学ぶことができました。

また、Japan week という週があり、ショーケースに日本から持って行った着物をかざってもらいました。友達や先生方が素敵とほめてくれたのがうれしかったです。バレーのクラブチームに入ったことも英語が伸びた大きなきっかけでした。大好きなスポーツを通して同じ年の友達を作り、楽しむことができました。

そして、家族や友達と離れたことで以前よりも人に感謝するようになりました。今まで当たり前だったことに気づくことができたのは自分にとってとても大きなことでした。

今、私は消防士を目指しているので、この留学で培った英語とコミュニケーション力を生かして、災害が起きた時に、日本語が分からない外国人をサポートできるようになりたいです。